

事務事業調書

平成26年度

事業No	659	課	総務課	係	庶務係	起案者	筒井良廣
						決裁者	加藤勉
事務事業名	小学校施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-10-5		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	児童が			～になる	安心して学校生活を送ることができる		
事務事業の内容	学校施設の維持管理、夜間警備、消耗品・備品の購入等を実施し快適な教育環境を整えます。 ごみ収集委託、樹木消毒剪定委託、消防用設備点検委託、遊具点検委託、浄化槽保守点検委託、空調機ガス ヒーボン保守点検委託、窓ガラス清掃委託、空調換気設備清掃委託、夜間警備委託、校務管理委託など。							
改善・対策の履歴	浄化槽保守点検委託などで市施設全体についてまとめて入札をする手法を導入することで、経費の削減を図れ ました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	482,680	432,052	461,091	412,206	469,016
財源計	481,672	430,792	458,760	409,875	466,307
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	825	0	0	3,000
	一般財源	480,847	430,792	458,760	409,875
受益者負担金	0	0	0	0	3,000
職員人件費 (従事職員数)	1,008 (0.16)	1,260 (0.20)	2,331 (0.37)	2,331 (0.37)	2,709 (0.43)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	小学校施設管理委託	見込	21.00	21.00	21.00	21.00
			実績	21.00	21.00	21.00	
	指標名 (単位)	委託業務を実施した学校数(校)	活動の総事業費 (千円)	122,476	132,748	49,040	
			活動にかかるコスト (千円)	5,832.19	6,321.33	2,335.24	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移								
指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	ガラス被害(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	4.00	0.00	0.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成
成果2	遊具故障件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	12.00	10.00	10.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果	
成果	学校施設の適切な維持管理ができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	教職員にも施設の点検・施錠の確認・校内警備などを依頼しました。 浄化槽の保守点検委託について、市施設全体についてまとめて入札を行い経費を削減しました。
成果	体育用具の点検を教職員にもやってもらい、不具合内容を指摘してもらうことで、必要な修繕を適切に行うことができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
施設の日常点検を引き続き教職員にやってもらい、不備があった場合には速やかに対応できるようにします。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	快適な学校生活が送れるよう施設の維持管理に努めます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	644	課	総務課	係	施設係	起案者	石原久仁夫
						決裁者	加藤勉
事務事業名	小学校施設修繕事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-10-5			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策		4-3-2-3-2			
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		児童が			~になる		安全な小学校施設で生活することができるようになる。		
事務事業の内容	雨漏り補修や破損した建具の修理など、小学校施設の修繕工事を実施します。 建物の保全計画に基づいた修繕を実施します。									
改善・対策の履歴	修繕箇所や状況がより詳しく把握できるように写真を添付することにより、修繕する内容をより細かく業者に指示することができるようになりました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	27,491	28,678	38,205	34,527	55,205
財源計	24,215	24,457	36,000	32,322	53,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	24,215	24,457	36,000	32,322
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,276 (0.52)	4,221 (0.67)	2,205 (0.35)	2,205 (0.35)	2,205 (0.35)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	学校施設の修繕	見込	21.00	21.00	21.00	21.00
			実績	21.00	21.00	21.00	
	指標名 (単位)	学校数(校)	活動の総事業費 (千円)	27,491	27,859	34,527	
			活動にかかるコスト (千円)	1,309.10	1,326.62	1,644.14	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	修繕された学校で学ぶ児童数(人)			目標	11,805.00	11,668.00	11,567.00	11,552.00
				実績	11,815.00	11,693.00	11,567.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
	修繕工事数(件)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
成果2				実績	103.00	105.00	140.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	破損箇所や危険箇所等の修繕を実施したことにより、児童にとって安全で快適な学校環境を整備することができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	競争入札を実施したこともあり、一つ一つの修繕費を低く抑えることができました。
成果	全小学校からの修繕要望に対し、適切な対処を行った結果、修繕された学校で安全に生活できる児童数の目標が達成できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
修繕内容を精査し、効率的に修繕を行います。 児童の安全を最優先に考え修繕を行っていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	施設の老朽化にともない、修繕箇所の増加が予想されますので、各学校と連携し、児童の安全確保を目的とした修繕を実施していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	645	課	総務課	係	施設係	起案者	石原久仁夫
						決裁者	加藤勉
事務事業名	小学校施設改修事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-10-5		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策		4-3-2-3-2		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	H22. 6太陽光発電設備の設置、H22. 12トイレ改修、H23. 6校舎、体育館のガラス飛散防止、H23. 9教室への扇風機						
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	児童が			~になる		安全に学校生活を送ることができるようになる。	
事務事業の内容	学校要望に基づき現地調査を行い、小学校施設の改修工事を実施します。また、改修工事を実施するにあたり、設計を必要とする工事については、設計業務を実施します。 H22年度から校舎トイレ改修工事を計画的に進めます。							
改善・対策の履歴	一般競争入札を実施することにより、一工事当たりの単位コストを抑えることができました。 学校等との調整を綿密に行い、学校生活に極力支障をきたさぬようにしました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	309,803	363,591	666,700	430,612	530,513
財源計	305,141	359,055	663,046	426,958	527,300
財源の内訳	国庫支出金	0	43,435	60,400	177,936
	県支出金	0	0	0	0
	市債	80,000	0	0	0
	その他()	1,000	0	220,000	3,011
	一般財源	224,141	315,620	382,646	246,011
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,662 (0.74)	4,536 (0.72)	3,654 (0.58)	3,654 (0.58)	3,213 (0.51)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	改修工事	見込	29.00	31.00	21.00	19.00
			実績	35.00	35.00	22.00	
	指標名 (単位)	工事件数(件)	活動の総事業費 (千円)	309,803	362,709	430,612	
			活動にかかるコスト (千円)	8,851.51	10,363.11	19,573.27	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移								
指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	改修工事実施率（実施数／計画数）（％）			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	120.70	112.90	183.30	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	改修された学校で学ぶ児童数（人）			目標	8,499.00	8,312.00	4,595.00	11,552.00
				実績	9,773.00	9,436.00	4,595.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果	
成果	改修工事を行ったことにより、長期的な安全確保ができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	優先度及び緊急度の高さを検討し、効率的に改修工事を行いました。 一般競争入札を実施し、工事価格の適正化に努めました。
成果	学校からの要望により、改修が必要とされる箇所を把握し、必要性の高い工事を選び、実施することができました。 必要とされる工事を実施することにより、校内の安全性を高めることができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
工事の優先度及び緊急度を熟考し、より効果の高い改修工事を行います。 児童の安全を最優先に考え営繕工事を行います。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	施設の老朽化により改修が必要な箇所の増加が予想されますので、安全性や必要性を考慮し、効率的な改修工事が実施できるようにしていきます。

事務事業調査
平成26年度

事業No	646	課	総務課	係	施設係	起案者	石原久仁夫
						決裁者	加藤勉
事務事業名		小学校バリアフリー事業			事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 2 快適な環境づくり			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-10-5			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策		4-3-2-3-1			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		小学校に通う、特別支援の必要な児童が			~になる		安全に学校生活を送ることができるようになる。	
事務事業の内容	特別支援児童の小学校入学及び転入、進級に伴い、施設のバリアフリー化を実施します。								
改善・対策の履歴	関係者と綿密な調整を行い、必要とされる修繕を実施することができました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,096	2,310	2,819	1,217	2,441
財源計	4,773	1,239	2,000	398	2,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	4,773	1,239	2,000	398
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,323 (0.21)	1,071 (0.17)	819 (0.13)	819 (0.13)	441 (0.07)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	バリアフリー修繕（工事）	見込	3.00	3.00	3.00	3.00
			実績	5.00	2.00	1.00	
	指標名 (単位)	修繕（工事）（か所）	活動の総事業費（千円）	6,096	2,121	1,217	
			活動にかかるコスト（千円）	1,219.20	1,060.50	1,217.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費（千円）				
			活動にかかるコスト（千円）				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費（千円）				
			活動にかかるコスト（千円）				

4 成果指標と実績の推移								
		指標名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	修繕・工事実施率（実施数／計画数）（％）			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	167.00	67.00	33.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果	
成果	特別支援児童の保護者の意見を取り入れたバリアフリー化ができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	特別支援児童が、快適に学校生活を送れるよう施設の改修工事を必要最小限の範囲で実施することができました。
成果	入学を希望していた児童が、既存施設での受け入れが可能となったため、修繕等を行わなかった事例がありました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
特別支援児童が安全に学校生活を送れるよう最低限必要な修繕及び工事を行います。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	特別支援児童に限らず、バリアフリーの幅を広げて、誰もが利用しやすい施設となるよう整備していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	660	課	総務課	係	庶務係	起案者	筒井良廣
						決裁者	加藤勉
事務事業名	小学校情報化推進事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 3 情報化への対応				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-10-5			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成16年度		経過	10年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		児童が			～になる		学習に情報機器を活用できるようになる		
事務事業の内容	国のＩＴ新改革戦略に基づき、学校ＩＣＴの環境を整備します。また、整備した情報機器については適切に保守管理するとともに、適切な時期に計画的に更新していきます。									
改善・対策の履歴										

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	82,275	175,850	217,882	206,632	128,514
財源計	81,519	174,905	216,937	205,687	127,569
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	22,594	25,326	25,402	25,250
	一般財源	58,925	149,579	191,535	180,285
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	756 (0.12)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	情報機器保守管理委託等	見込	21.00	21.00	21.00	21.00
			実績	21.00	21.00	21.00	
	指標名 (単位)	保守管理委託等を実施した学校数(校)	活動の総事業費(千円)	26,070	25,479	25,533	
			活動にかかるコスト(千円)	1,241.43	1,213.29	1,215.86	
活動2	活動名 (活動内容)	情報機器の増設及び更新	見込	0.00	21.00	21.00	0.00
			実績	16.00	21.00	21.00	
	指標名 (単位)	情報機器の増設及び更新をした学校数(校)	活動の総事業費(千円)	56,205	150,371	181,099	
			活動にかかるコスト(千円)	3,512.81	7,160.52	8,623.76	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	情報機器の増設及び更新をした小学校数(校)			目標	0.00	21.00	21.00	0.00
				実績	16.00	21.00	21.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	・情報機器の不具合が生じた場合には、素早く修繕等の対応ができました。
----	------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・保守経費については、平成26年9月までの3年間の長期継続契約のため、修繕費用の増減による増減がある程度です。 ・25年度は、図書室・保健室のパソコン更新に加え、XPサポート期間終了に伴い、前倒しでコンピュータ教室の情報機器の更新を行ったため、情報機器の増設及び更新において活動の総事業費が増加しました。
成果	・老朽化した情報機器の更新の計画を前倒して実施し、学校ICT環境の向上を図ることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
老朽化した情報機器については、適切な時期に適切なスペックのものに更新します。また、授業でのパソコン活用事例を学校に紹介するなどして活用促進を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	引き続き、老朽化した情報機器を適切な時期に更新するとともに、整備された情報機器を有効活用できるよう、学校に情報提供します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	661	課	総務課	係	庶務係	起案者	橋本恵
						決裁者	加藤勉
事務事業名	小学校魅力ある学校づくり事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 4 魅力ある学校づくり			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-10-5		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	平成18年3月市民文教常任委員会						
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	その他(各学校諸活動運営委員会)					
実施期間	開始	昭和61年度	経過	28年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	各小学校が			~になる	自校の方針に基づき、創造的、個性的な学校づくりを進める		
事務事業の内容	各学校の伝統、地域性、独自性を活かした本事業を推進し、児童の学習意欲の高揚や心身の発達に寄与します。							
改善・対策の履歴	平成15年度から委託金額を50万円以上、300万円以下に改正しました。 平成19年度から委託金額の下限をなくしました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,580	6,534	6,819	6,619	6,819
財源計	5,824	5,715	6,000	5,800	6,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	5,824	5,715	6,000	5,800
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	756 (0.12)	819 (0.13)	819 (0.13)	819 (0.13)	819 (0.13)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	事業提案	見込	21.00	21.00	21.00	21.00
			実績	21.00	20.00	20.00	
	指標名 (単位)	提案校数(校)	活動の総事業費(千円)	6,580	6,534	6,619	
			活動にかかるコスト(千円)	313.33	326.70	330.95	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移								
	指標名(単位)			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	学校づくり事業提案数(学校数)			目標	21.00	21.00	21.00	21.00
				実績	21.00	20.00	20.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果	
成果	25年度事業の採択校は6校(高棚小、祥南小、桜林小、明和小、桜町小、新田小)で、各学校のアイデアを生かした整備等ができました。 環境に関連した内容のもの(緑のカーテン)も含まれています。 26年度事業の採択審査の際、審査員の日程調整ができなかったため、2次審査においてヒアリングを実施することができませんでした。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	採択した学校から業者へ発注する際にも、複数業者からの見積もりを徴し、コストの縮減に努めてもらっています。
成果	提案校が、目標である全校提案には至りませんでした。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
より学校の特色を活かした提案を採択するとともに、「環境首都」実現のために、環境教育に関する提案は積極的に採択していきます。また、不採択校が翌年度に積極的に提案できるように、審査内容を学校に公表する方法を引き続き検討していきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	児童の学習意欲の高揚や心身の発達に寄与する学校からの提案を大切に、今後も継続します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	1089	課	学校教育課	係	学事係	起案者	土屋誠二
						決裁者	神尾壽明
事務事業名	小学校安全管理事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-10-5			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策		1-4-3-2-2			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	一部委託		委託先						
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	小学校の児童が				~になる	防犯・交通安全に対する意識が高まる		
事務事業の内容	児童の登下校の安全を確保するために、地域住民等による声かけや交通要所での立ち番に協力していただくスクールガードを組織立てていきます。 防犯・交通安全の意識を高める啓蒙活動を、学校で実施します。								
改善・対策の履歴	スクールガードへの、消耗品の予算を確保し、必要なベストや帽子などの購入を可能としました。 スクールガードリーダーに各学校のスクールガード組織を巡回指導していただき、安全意識を高めるようにしました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,368	1,390	1,482	1,383	1,434
財源計	1,053	1,075	1,167	1,068	1,119
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	1,053	1,075	1,167	1,068
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	スクールガード事業委託	見込	0.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託(一式)	活動の総事業費 (千円)	630	630	630	
			活動にかかるコスト (千円)	630.00	630.00	630.00	
活動2	活動名 (活動内容)	スクールガードリーダー巡回指導を行う	見込	0.00	200.00	200.00	200.00
			実績	222.00	194.00	198.00	
	指標名 (単位)	巡回指導日数(日)	活動の総事業費 (千円)	763	763	763	
			活動にかかるコスト (千円)	3.44	3.93	3.85	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	スクールガードリーダーによる巡回指導回数(日)			目標	200.00	200.00	200.00	200.00
				実績	222.00	194.00	198.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	
成果2	スクールガード登録数(人)			目標	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
				実績	1,446.00	1,263.00	1,239.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	特にありません。
----	----------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	市内全小学校へスクールガード委託事業を行い、各学校でスクールガードリーダーと相談しながら、児童へ防犯・交通安全の意識を高めるようにしています。そのため、交通安全に対する学校の意識が、ヒトからモノへ変わりつつあります。(DVDやプリントで防犯・交通安全教育となる物の購入が増える傾向。)
成果	スクールガードリーダーへの講習に対する報酬が数年間変更しておらず、スクールガードリーダーの巡回には、本人に負担をかけている状況です。また、交通安全に対する啓蒙活動も、学校側の方法が多様化して、巡回指導に対する負担がないようにも心がけています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
スクールガードリーダーへの十分な対応が、地域の安全や通学路の安全につながるため、スクールガード事業委託だけでなく、リーダーへの報酬検討が必要です。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	通学路での事故は、日本全国で起きており、国も教育委員会、警察、道路管理者合同で対策を講じるよう勧めています。ドライバーへ通学路への配慮を促す努力と、危険箇所の把握、児童へも道路の危険性を認識させ、児童本人の防犯・交通安全意識を高めることが、事故の減少につながります。そのためにも、交通安全教育と地域での見守りを継続していきます。